

事務事業評価調書

事務事業名	監査事業				
担当部名	監査委員事務局	室課名	監査委員事務局	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	監査委員の定数を4名から5名に条例改正											
(2) 直近の改正	平成20年度													
(3) 根拠法令等	地方自治法・地方公営企業法・吹田市監査委員に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	(対象機関等)全部局・財政援助団体 (対象者)市長、委員会委員、市職員											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市の財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行なわれるよう、また、市の経営に係る事務の管理が合理的に行なわれるように監査を実施												
(7) 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 年間監査計画に基づく定期監査(行政監査)、工事監査、決算審査、財政援助団体等監査、健全化判断比率等審査の実施 例月出納検査の実施 住民監査請求に基づく監査の実施 													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	6	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		6,944	4,692	6,944	4,349	7,038							
	人件費	職員数	人	7.00	6.00	6.00	6.00	7.00						
		総額(B)	千円	58,100	47,682	50,112	50,112	57,190						
	総事業費(A+B)		65,044	52,374	57,056	54,461	64,228							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	市負担(D)		65,044	52,374	57,056	54,461	64,228							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		65,044	52,374	57,056	54,461	64,228								
財源計(C+D)		65,044	52,374	57,056	54,461	64,228								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	協同組合総合技術士連合										
			②											
			③											
主な委託内容		工事監査に伴う工事技術調査												
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 監査(補助執行)実施件数	目標値	(単位:室・課)	83.00	74.00	83.00	
			実績値	(単位:室・課)	83.00	74.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	年間監査計画に基づき実施されること	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		631.01	735.96	
				一般財源(単位:千円)		631.01	735.96	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 指摘及び注意事項に関する改善件数	目標値	(単位:件)	76.00	158.00	0.00
	実績値			(単位:件)	76.00	158.00		
	達成度(%)			100.0	100.0			
	目標値の積算方法	指摘及び注意事項が全て改善されること	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		689.13	344.69	
				一般財源(単位:千円)		689.13	344.69	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		地方自治法により実施が求められている業務であり、継続が必要である。 また、年間監査計画に基づく決算審査等で使用する資料について、平成29年度にシステム改修を行うことから拡充とした。					

事務事業分析シート

所属名	監査委員事務局	事業名	監査事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00828				

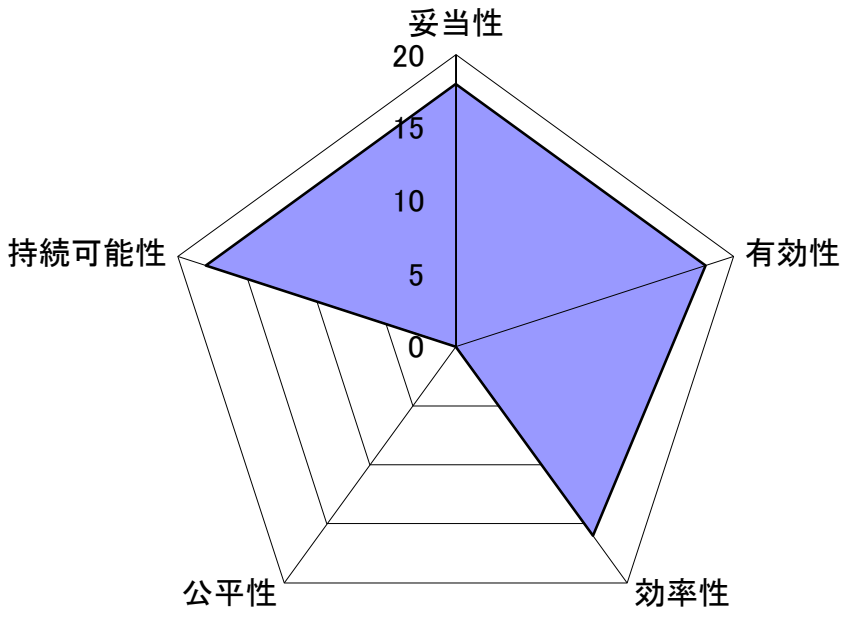
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	監査委員事務局	事務事業番号	00828
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>監査事業(監査委員制度)は、公正で合理的かつ能率的な市の行政運営の確保を図るため、地方自治法に定められた制度である。</p> <p>監査委員事務局の職員体制は、職員再構築計画以前は職員9人であったものが、平成26年度からは職員6人(再任用職員1人が退職したため1人欠員)で、なおかつ公平委員会事務局職員を兼任しており、公平委員会事務局職員にも欠員が生じているという再構築計画よりも少ない職員数となっている。しかしながら、職員の精力的な対応と効率的な監査の実施により、これまでの監査水準を維持するよう努力している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

地方自治法により実施が求められている業務であり、継続が必要である。